

南原遺跡第15次発掘調査概要

- 1 調査期間 令和8年1月13日（火）から1月27日（火）
- 2 調査地 戸田市南町1861番22
- 3 調査対象面積 64.2㎡
- 4 調査主体 戸田市教育委員会
- 5 調査担当者 生涯学習課 主事 今井 源吾

6 検出された遺構

- 周溝状遺構 1基 弥生時代後期～古墳時代前期
- 井戸跡 1基 平安時代
- 土坑 7基 平安時代
- ピット 4基 一部は平安時代

検出された遺物

- 土師器（弥生時代後期～古墳時代前期、平安時代）、須恵器（平安時代）、
灰釉陶器（平安時代）

7 内容

南原遺跡第15次調査は、南原遺跡の北端に位置する。周溝状遺構は、遺物が出土していないため不明な点が多いが、形状から周溝持ち建物跡の可能性があり、弥生時代後期～古墳時代前期の集落範囲が遺跡北端まで広がることが判明した。平安時代の遺構は、井戸や建て替えを行った柱穴をもつ土坑などが検出されているため、集落の一部として活用されていたと思われる。土坑の一部は焼土と炭化物が含まれているため、火葬墓に関わる可能性がある。



南原遺跡第 15 次調査全体写真（下側が北）